

2016.5.19

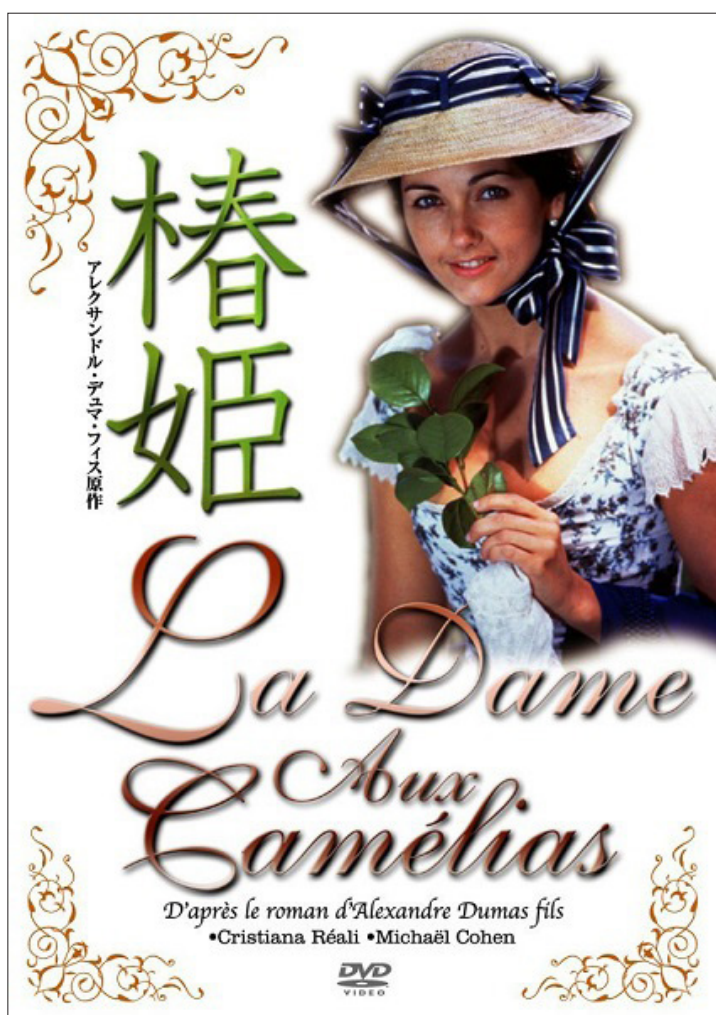
vol.48

シネマ・ド・リぶらの  
コラム・ド・シネマ

映画  
を  
読む

本日の上映作品

椿 姫



5月19日(木)

① 10:30 ~ 12:30

② 14:00 ~ 16:00

椿の花を愛するがゆえ、人々から「椿姫」と称された高級娼婦のマルグリット・ゴージェ。ある日、純粋にして多感な青年アルマンと出逢った彼女は、彼のひたむきな心に打たれ、真実の愛に目覚める。

それまでの自由奔放な生活を捨て、アルマンのもとに赴くマルグリット。だが、ふたりの幸福な時間は、長くは続かなかった……。< Amazon >

原題：LA DAME AUX CAMELIAS

監督：ジャン=クロード・ブリアリ

原作：アレクサンドル・デュマ・フィス

出演：クリスチアナ・ヘアリ

ミカエル・コーエン

ヴァレリー・メレス

製作：1998年フランス カラー

上映時間：118分

# 映画を読む 『椿姫』

小説『椿姫』の子孫的作品が続々…… K.M.

◆ 今回の上映作品は、アレクサンドル・デュマ・フィスの小説『椿姫』を、ヌーヴェルバーグ時代を中心に活躍した名優ジャン＝クロード・ブリアリが自ら脚色も手がけ、テレビドラマとして1997年に製作した作品です。原題は小説と同じく『LA DAME AUX CAMELIAS (椿を持つ貴婦人)』。邦題『椿姫』は原題に対する森鷗外の名訳で、小説をベースとした戯曲・歌劇・バレエは、日本ではほとんど『椿姫』というタイトルを使っています。

◆ アレクサンドル・デュマという名の作家は二人存在します。ひとは『モンテ・クリスト伯 (岩窟王)』や『三銃士』で有名なデュマで、デュマ・ペール (父) と呼ばれています。もうひとりがその息子で、『椿姫』の作者のデュマで、デュマ・フィス (息子) と呼ばれています。

親子ながら二人のデュマの作風は全く異なっており、大時代がかったドラマティックな作品を特徴とするデュマ・ペールに対し、デュマ・フィスは身近な世界を描くことに長け、とりわけ恋愛劇作家として成功しました。その中でも、1848年、24歳の時に発表された「椿姫」は、デュマ・フィスの筆名を一躍高らしめると同時に、19世紀のもっとも成功した恋愛小説として、さまざまなジャンルで優れた作品を生み出すベースになります。

◆ 『椿姫』の舞台は19世紀の半ば。ブルジョアジーが次第に社会の中心をなし、貴族階級が力を失ってゆきつつあった七月王政下のパリ。ヒロインのマルグリット・ゴージェをめぐり美しくも儚い恋物語は、デュマ・フィスの実体験にもとづくものと言われています。

◆ マルグリットのモデルは、当時パリで、多くの貴族やブルジョワのダンディたちの憧れの的であった高級娼婦マリー・デュプレシ (本名ローズ・アルフォンシーヌ・プレシ) で、彼女の立派な大理石の墓がモンマルトル墓地に実在します。今回上映作品の冒頭、男の子が「椿の花」を手向けるのはその墓ですからご注目を。この少し後、画面に初めて登場するマルグリットの腰のあたりに白い椿が飾り付けられているのにご注目。彼女はひと月のうち25日は白い椿を、5日だけは赤い椿をつけていたそうです。

◆ 娼婦というと、身を売る卑しい女というイメージが先行しがちですが、マリーは卓抜なセンスと美意識の持ち主

で、気品ある才媛だったそうです。街角で出会った彼女をひとめで見染めたデュマ・フィスは、一途な愛をささげて彼女の愛を勝ち得ますが、長くはつづかず、1年ほどで二人は別れます。そしてその2年後、マリーは長く患っていた結核がもとで、23歳の若さで亡くなります。

◆ デュマ・フィスは自身のうちに彼女の面影をよみがえらせようとするかのように、マリーとの思い出をベースにした小説に取りかかり、マリーが亡くなった翌1848年に出版。更に、翌1849年にこれを戯曲化。翌1850年初演に漕ぎ着け、大成功を収めます。以後、主人公のマルグリットは、サラ・ベルナルルら歴代の名女優によって演じ続けられていきます。

◆ さらに戯曲『椿姫』をパリで観て感激したヴェルディが、一気に呵成に仕上げた歌劇『椿姫』も大ヒットし、現在では、三大オペラのひとつと評されるほど世界中で愛されています。

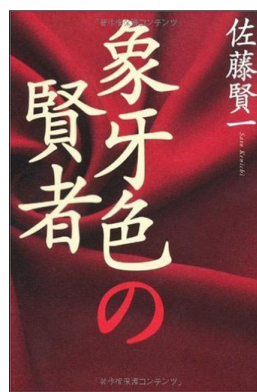
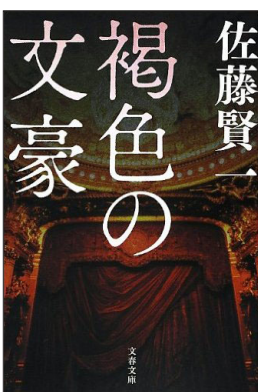
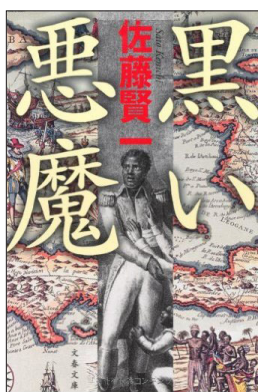
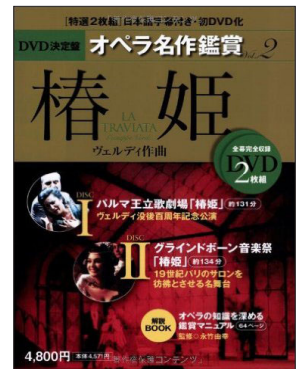
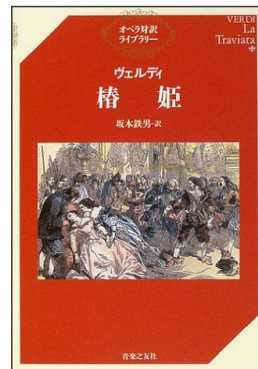
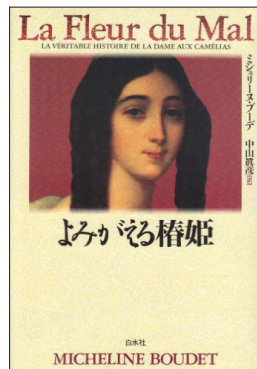
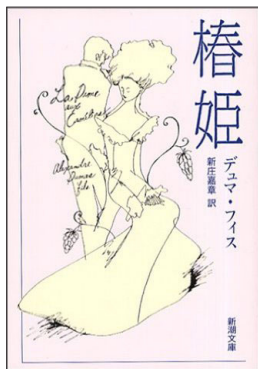
◆ 映画も数多く作られましたが、サイレント映画時代のアラ・ナジモヴァ/ルドルフ・ヴァレンティノ版 (1921年)、トーキーになってからはグレタ・ガルボ/ロバート・テイラー版 (1936年) が有名です。

◆ それからぐっと新しい時代では、バレエ『椿姫』、今回上映のテレビドラマ『椿姫』、ニコール・キッドマン/ユアン・マクレガー主演のミュージカル映画『ムーラン・ルージュ (2001)』、変わったところでは、歌劇『椿姫』の前奏曲がベースのコンチネンタルタンゴの名曲『ヴィオレッタに捧げし歌』などなど……。

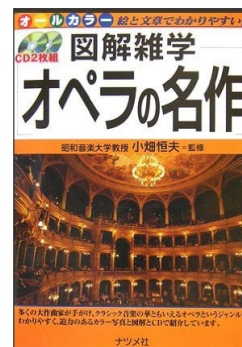
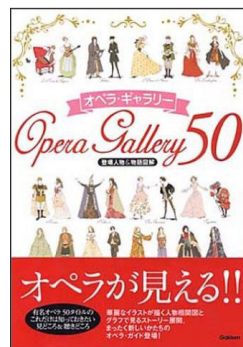
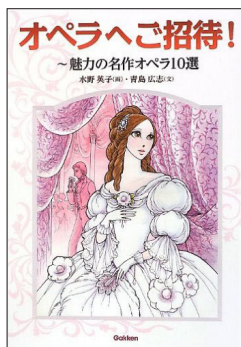
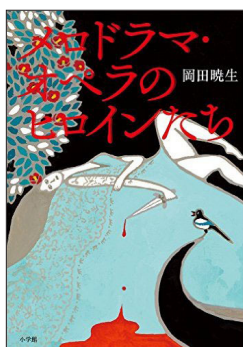




『椿姫』	デュマ・フィス／著	光文社 新潮社	953.6
『椿姫とは誰か』 オペラでたどる高級娼婦の文化史	永竹 由幸／著	丸善	368.4
『よみがえる椿姫』	ミシュリーヌ・ブーデ／[著]	白水社	289.3
『黒い悪魔』	佐藤 賢一／著	文藝春秋	913.6
『褐色の文豪』			
『象牙色の賢者』			
『椿姫』	ヴェルディ／[作曲]	音楽之友社	766.1
『歌劇「椿姫」』	ジュゼッペ・ヴェルディ／作曲	ニホンモニター（株）	156.9
『オペラ名作鑑賞 Vol.2 椿姫』	DVD 決定盤	世界文化社	766.1
『メロドラマ・オペラのヒロインたち』	岡田 暁生／著	小学館	766.1
『魅惑の名作オペラ 10 選』	青島 広志	学研パブリッシング	766.1
『オペラギャラリー 50』 登場人物 & 物語図解		学研	766.1
『図解雑学 オペラへの名作』	小畑 恒夫／監修	ナツメ社	766.1



『象牙色の賢者』が『椿姫』のデュマ・フィスの物語。その父は、『三銃士』『モンテ・クリスト伯』でフランス文学界の伝説になった『褐色の文豪』のアレクサンドル・デュマ・ペール。そして、祖父の『黒い悪魔』は、カリブ海に浮かぶフランス植民地の白人農場主と黒人女奴隷との間に生まれ、勇猛果敢な戦いぶりで皇帝ナポレオンすら一目置いたデュマ将軍。



# インフォメーション

## 第49回『明日へのチケット』

6月16日(木)

① 10:30 ~ 12:20

② 14:00 ~ 15:50



3人の高名な監督による物語を1つの感動作にまとめあげた！ローマ行きの特急列車に乗りこんだ初老の大学教授、目的なく日々を過ごす若者、待望のサッカーの試合を見に行く少年たち。それぞれの愛、不安、希望を胸に新しい未来へ旅立っていく。< Amazon >

原題：TICKETS

監督：エルマンノ・オルミ

アッバス・キアロスタミ、ケン・ローチ

出演：カルロ・デッレ・ピアーネ

ヴァレリア・ブルーニ・テデスキ

シルヴァーナ・ドゥ・サンティス

製作：2005年イタリア/イギリス カラー

上映時間：110分

## 『花咲ける騎士道』感想

- ・十分楽しめました。こんな愉快的な映画はめったにない。
- ・とてもドタバタでした。でも楽しくてゲームの様な感じでした。もし本当のことだったら、どうなんだろう…？
- ・初めて来ました。楽しかったわあ〜。ほのぼのしました。
- ・ストーリーは単純でも、イケメンのファンファンがすてきでした。
- ・ジェラルド・フィリップが大変ステキでした。
- ・日本映画より、痛快・明確でいいですね。
- ・面白かったです。日本の戦後名画も上映して下さい。
- ・おもしろくてよかったです。有難うございました。
- ・楽しかったです。ありがとうございます。
- ・大変よかったですよ。ご苦労様です。

## サロン・ド・シネマ

6月～9月はホワイエが大変暑くなるため、サロンはお休みさせていただきます。

## 上映予定(毎回木曜日)

第49回	6月16日	『明日へのチケット』
第50回	8月4日	『シェーン』
第51回	9月15日	『スプレンドール』
第52回	10月27日	『マダム・イン・ニューヨーク』
第53回	12月15日	『素晴らしき哉、人生』
第54回	1月19日	『ジェニイの家』
第55回	2月16日	『会議は踊る』

『シェーン』と『マダム・イン・ニューヨーク』は図書館では所蔵しておりませんが、上映作品の選択肢を広げるため、劇場上映用のDVDをレンタルします。上映時には関連の図書の紹介をしますので、ご利用下さい。『マダム・イン・ニューヨーク』は、男女共同参画課との共催となります。

※ 上映作品は変更になる場合があります。  
※ 第3木曜日に限りませんのでご注意ください。

## 賛助サポーター受付中！ 年度更新：1口 2,000円から

随時、ご寄付も受け付けています。

図書館のDVD資料だけでは、無料で上映できる作品が限られています。あなたの賛助で、上映作品の幅が広がります。登録は市民活動センターへ。相談窓口：戸松 070-5333-1842